

# 飯豊地区

潤いと活力と夢のある北の大地いいとよ

南北に縦貫する東北自動車道、国道4号線さらにJR東北線と北上川が並行し、これらの沿線に沿って、奥寺堰の開削(江戸時代)により整然と整備された田園地帯と近年の企業誘致による工業団地が拓け、その生産力は目覚ましいものがあります。

東に先端産業の中核を担う北上北工業団地、南に高速交通時代の物流の拠点となす北上流通基地、中央には県立中部病院・JA北上統括支店を擁し、北には県立農業研究センター・生物工学研究所が立地し未来農業の在り方が内外に向けて発信されています。

こうした条件の中で各所に住宅団地が造成され、人口の増加を続け、現在1万1千人を超え混住社会の形成が進んでいます。

## 歳時記

2月	火防祭(成田)各地区歳祝い	8月	町ふれあいスポーツ大会
3月	火防祭(宇南神社・藤沢稲荷神社・村上・村崎野)	9月	町敬老会 例大祭(伊勢神社・宇南神社 藤沢稲荷神社)
4月	地区各種団体総会	10月	町スポーツまつり 町文化祭
6月	町民運動会	11月	地区民講演会
7月	町シルバースポーツ大会 少年少女スポーツ交流会	12月	飯豊雪灯り

## 飯豊地区民俗芸能団体

団体名	代表者	団体名	代表者
伊勢流門屋大神楽	高橋俊一	飯豊鬼剣舞	斉藤征也
村崎野大乘神楽	中野善一	村崎野岳神楽	富田勲
藤沢大乘神楽	八重樫康伸	村崎野権現舞	高橋久兵衛
成田神楽	小原善孝		

## 指定木・保存木・すず 他

番号	名 称	住 所
1	イチヨウ(保)	飯豊16地割地内
2	ケヤキ(保)	村崎野9地割地内
3	カツラ(保)	藤沢7地割地内
4	ヒイラギ(保)	飯豊6地割地内
5	ヒイラギ(保)	村崎野7地割地内
6	アセビ(保)	飯豊6地割地内
7	飯豊森の杉林(指)	飯豊9地割地内
8	六助のすず	飯豊6地割地内
9	薬師流れのすず	飯豊6地割地内
10	飯豊森のすず	飯豊9地割地内
11	奥州街道沿いのすず	村崎野14地割地内
12	清水育園内響清水	北工業団地5
13	多田家の御前水	成田27地割地内
14	八幡神社下の御前水	成田5地割地内
15	糸柄清水	成田5地割地内
16	飯豊森の権現岩	飯豊9地割地内

## おすすめ観光スポット

<b>飯豊森</b>	飯豊森は当地区の北西部にある小高い丘で、古来よりエンテ森と呼ばれ、飯豊のシンボルとして親しまれてきた。飯豊小学校の校歌にも唄われ、現在も1,2年生の遠足には欠くことが出来ない森である。山頂には『観音堂』と大きな岩の『弁慶の足跡』があり伝説と神秘的な山でもある。また、山頂よりの眺めは飯豊の全てをパノラマのように見せてくれた。平成16年から平成18年度の3力年に亘り地区住民の手による整備事業が行われ、散策路が整備された。
<b>飯豊館</b>	14世紀の時代に和賀氏惣本家二子城主和賀小次郎の支城であったが同族間の争いに敗れ落城した。この後、和賀氏も滅亡した。現在、道路脇の畑地の中に『飯豊館跡』の石碑が建っている。
<b>水芭蕉群生地</b>	当地は飯豊地区西部の田園地帯の雑木林の中にあります。江戸時代に灌漑事業のため施工された『旧奥寺堰』跡地に水芭蕉が群生し、その周りに「シヨウジヨウバカマ」等の山野草の花が咲き競います。平成19年度から今月まで地区住民の手で整備事業がおこなわれ、散策路の整備と四季楽しめるよう「山アジサイ」「山吹」「山ツツジ」「山ぼうし」「みやぎの萩」の植栽を行った。
<b>遊行上人塚</b>	鎌倉時代に時宗の開祖一遍上人ら多くの上人達が奥州地方の遊行に力を入れた。その中の託何上人が陸奥国の中部地区まで北進され、この地で体調を崩し病没した。(1354年)なお、当地藤沢の地名は、時宗総本山のある神奈川県藤沢市の名をもらったものと言われる。
<b>月舘公園</b>	北は飯豊川の絶壁に面し、西には堀があり、東に沢となっている。飯豊甚七郎の舘と言われている。(広さ、三反歩位)現在、公園となっている。山桜が数本見られる。
<b>宇南公園</b>	市立中央児童公園である。町内有数の桜の名所でもある。
<b>成田一里塚 塚腰一里塚</b>	飯豊地区には北東部に成田一里塚と南東部に塚腰一里塚の二つがあります。慶長9年(1604年)江戸幕府によって定められた全国五つの街道には、日本橋を起点にしてそれぞれ一里塚(一理=約3.92km)が築かれました。現在、奥州街道で残っている一里塚は、わずか20箇所ほどです。成田一里塚は、日本橋から129里(506.6km)盛岡までは10里(39.3km)の地点、塚腰一里塚は、日本橋から128里(502.8km)盛岡までは11里(43.2km)の地点にあたります。明治以降、国道が切り替えられたためそのまま完全な形で残り、原形のまま残っているのは全国でもここだけと言われている。

<b>天照御祖神社 (通称:伊勢神社)</b>	御祭神:天照大御神 沿革:寛永5年南部藩主南部重信公の命により、南部藩士奥寺八左工衛門が新田開拓に着手した際、伊勢の国皇太神宮に祈願し、工事完了後に分霊を勧請し、村崎野開拓地内に新社殿を造営遷宮し天照大神宮を祀る。(元禄2年)
<b>成田八幡神社</b>	御祭神:応神天皇 由来:飛勢森城主忠達は源頼朝の子孫で八幡太郎を信じ領内に八幡宮を建立した。1397年に当地区にも建立した。
<b>薬師神社</b>	縁起:唐戸崎の祖先は和賀氏の家臣の斉藤九郎右工衛門で、和賀氏の滅亡の後に当地に落ち着いた。それから後、眼を患う母と子が観音さまのお告げにより、近くのすすで眼を洗うと全快した。そのお礼にすすの近くに観音堂を建て薬師如来を祀った。
<b>飯豊八幡神社 (通称:宇南神社)</b>	御祭神:菅田別命 由緒:当社は明治以前には宇南神社と称した。13~15世紀には和賀氏の支城飯豊城の守社であったが、飯豊城の落城により廃社となった。その後(1765年)南部家34代南部利雄公により再興された。明治5年に八幡様も合祀し村社となり八幡神社と称した。
<b>奥寺神社</b>	御祭神:奥寺八左工門 由緒:南部藩士奥寺八左工門は藩主の命を受け、村崎野中心の大草原の開拓に取り組んだ(1666年)。和賀川より取水し、穴堰・平堰を掘り、北上川に至る土堰(111,418間)を完成した。苦節15年であった。その功績偉業を顕彰するため奥寺神社を祀り、米作農業家の守護神として崇敬の殿堂を後世に伝えた。なお、奥寺氏は当地村崎野太田屋において急没した。(1687年)
<b>三峯山神社</b>	由来:三峯山は山岳信仰の拠点で火災・盗難・病災に霊験がある。沼田の三峯山は、1824年武州三峯山から分霊され部落の氏神様として建立された。ここには子供を守る犬山伝説がある。
<b>藤沢稲荷神社</b>	御祭神:保食神 沿革:奥寺八左工門が新田開墾のための水源を求め数力所を撰鑿したが水に到らずに苦慮している或る夜、神夢にお告げがあり「白狐を持って示さん」と。のちに2名の人が現れ教導し、白狐になりて逸走した。よって、新田開墾に成功した。この神霊に因え藤沢村に一字を建立し、住民の鎮守とした。